



大報 おおおじめ

昭和42年2月25日 No.165

編集と 鹿兒島県肝属郡大根占町役場
発行 総務課 文書広報係
(電話 大根占局 1・69・254番)
印刷 逆瀬川印刷所 (電話 140番)

農政特集号

おろそかにできない米の増産 作期・品種の統一を 農家の気構えも前向きに

「米作り」は日本農業の基
本でありました。しかし近年
では、日本農業の「曲り角」
が唱えられ、「米一辺倒の農
業」から、「畜産や果樹等の
比重の大きい農業」への脱皮
が極めて積極的に進められ
ています。長い目でみて、
そのような方向をとらねばな
らないことは勿論であります
が、だからといって今、「米
作り」をおろそかにしてよい
わけではありません。
農業経営の条件も、農業を
とりまわっている諸情勢も、年
々非常な早さで変化してゆき
ます。「米作り」の技術もま

養蚕の将来は明るい 将来は専業農家も 宿利原で今年から実施

国民の所得がふえ、生活文
化が向上するにしたがって、
食生活が変ってゆくように、
衣類でも同じことが言えます
食生活の変化と、衣類の需要
の変化と一つに結びつけて考
えることは、或は当を得てい
ないかも知れませんが、最近
高級衣料の需要が急増し、生
糸の生産が追いつかないと云
うことです。しかもこれは、
国民生活の向上に伴って増す
ますその需要が増加してゆく
であろうと言はれています。
本町では、戦前には相当量
の養蚕がなされていましたが
御承知のような事情で現在で
は、全く行なわれていません
戦後は化学繊維類の進出で
あまり振はない時代もありま
したが、国内需要は前記のよ
うな理由で、毎年相当量の増
加をみています。又海外の絹
の需要国でも、日本に対して

た一日と進歩してゆきます
どんな作物を作るにしても
そうですが、「米作り」の場
合でも諸情勢におおきな影響
をうけ、うまくそれに対応し
てゆく工夫や、新しく開発さ
れる技術を取り入れて効果的
にそれを活用する努力は、絶え
ず続けられねばなりません。
近年生産者の努力や工夫は
果樹、畜産などの成長作目に
向けられることが多く、「米
作り」についての関心が非常
に弱まって参りました。
このままでは主食の確保は
もちろん、他の作物に及ぼす
影響も少なくありません。

北九州の佐賀県では、全県
平均十アール(一反)当り収
量五・二キロをあげておりま
す。これにくらべ鹿兒島県で
は、三四五キロしかあげてい
ません。このおもな原因は、
気象的な問題や、いろいろあ
りますが、最大の理由は、米
作りに対する気構えの相違に
あると言はれています。
このようなことから、県は
もちろん、町でもこの稲作と
もって真剣に取り組み、増収
をはかることにしています。
町では、早期栽培の播種期
を間近にひかえ、ここの米
作りから早速この運動をおし
まゆの増産と、生糸輸出を要
請しております。

本町におきましては、農業
の仕組みを、需要の増大する
であろう作目を選定して、こ
れを大規模に経営する農家を
育て、きびしい立場に、おか
れている農家の経営を安定さ
せ、農家経済の向上をはかつ
てゆこうという目的で、池田
と島浜地区にたばこ、果樹
を基幹作物とした農業構造改
善事業を実施する等、いろい
ろな施策を実施しています。
宿利原校区は、広い畑台地
を有していますが、換金作物
の栽培は、一部に葉煙草が栽
培されているほか、甘藷がそ
の大部分を占めています。し
かし、甘藷の栽培は価格の面
で安定した作物とは云えませ
ん。このようなことから、町
と農協で宿利原校区の一部
(大尾、才原、落河、岩元、

すめることにし、二月の上
旬から中旬にかけて部落座談
会を開いて各農家に呼びかけ
て参りました。すでに農家の
みなさんには、この主旨をよ
く御承知くださったことと思
いますが、今後の方策のあら
ましをお知らせしますので、
この運動にすんで御協力く
ださるようお願いいたします。
1、地域別に栽培法をきめる
下場地域、早期栽培と二期
作(一部に普通栽培)
上場地域、早期栽培と普通
栽培
2、作期の統一
作期のみだれと、早期、普
通などの混作は、病虫害防除
や管理作業上問題が多いので
できるだけ集団栽培にして作
期を統一する
3、適品種の栽培統一と種子
更新
イ、早期、(一回作)
コシジ早生、コシヒカリ、
ぜんこうもちもち
(一回作)

アサシオ、コシジ早生
口、普通栽培
タチカラ、センダイ、富田
もち
ハ、晩期栽培、ニキサカエ
アリアケ
種子は、三年に一回必ず更
新する。
4、健苗の育成をはかる
苗七分作と云はれるほど苗
作りは大切です。種子消毒や
施肥量、種子の量など基準を
守ってよい苗を作るように心
がけること。
5、施肥の合理化
堆肥の増産をはかり、一〇
アール当り千五百キロを
使うと共に、土壌改良資材を
入れ、町や農協の示す施肥の
基準を守ること。
6、病虫害防除を徹底するこ
と
一斉防除でない効果は期
待できません。したがって、
部落や地域で共同防除班を編
成して必ず共同防除をするよ
うにしてください。

牛の能力は
飼育者で伸ばせ
登録検査から
四十一年度第四期の和牛登
録検査は、去る二月二十三日
鳥井戸家畜市場で開かれまし
た。
こんど受検した牛は、全部
で四十九頭でしたが、うち、
七八点以上が二頭、七七点以
上が十一頭、七六点以上が二
七頭、七五点以上が八頭、七
四点が一頭、以上のような成
績でした。
登録協会や、関係技術員の
人たちの話では、牛の資質や
体形などは、その母牛なり、
祖母牛よりも確かに改良され
てよくなっているが、飼育管
理が適当でないため、せっかく
良い素質を持っている牛が
充分にその能力を発揮できな
いというものが多く、特に、
濃厚飼料の与え過ぎや、運動
不足のものがめだっている。
今後、このようなことをな
くするよう努力していただい
たら、もっとも上級の点数
を得られるはずの素質を持っ
た牛が多い。
入の関係等から申し込みし
ていない希望者は、早く申し込
みされるよう望んでいます。
農協今村指導課長の話
宿利原方面は、広い畑台地
を有しており、煙草耕作農家
も少なく、甘藷以外にはこれ
と云った換金作物の栽培がな
く、従って農家の所得も低い
絹の需要は国内だけでなく毎
年相当、伸びており、海外への
輸出も期待できると思えます
今後は、技術的な指導等に
手落ちのないよう関係機関と
充分連絡をとりながらやって
ゆきたい。農家の方々も、将
来養蚕専業農家として、やっ
てゆくだという気構えで、思
い通りに取り組んでほしいと思
います。

命苦)を主体に養蚕を奨励す
ることになり、地元の農家の
熱意もあって、養蚕振興会が
結成され、これに乗り出すこ
とになりました。
農協では、地元の農家の方
々と話し合って、複合型の農
家として養蚕をとりあげ一戸
平均三十アールを目標にして
いますが、将来は養蚕専業農
家の実現を期待し、三年計画
で二十ヘクタールの桑園を作
り、これが成園に達する五年
後には、副産金一千万円以上
をあげる計画です。
(1)他の農作物にくらべて、設
備や器具などに要する経費
(現金支出)が少なうて、桑
の植え付け当年から収入が
あがり、年三回以上の養蚕
ができることから災害を受ける
率が比較的小さい。

(2)比較的手間がかからない
養蚕の利点としては、
(1)他の農作物にくらべて、設
備や器具などに要する経費
(現金支出)が少なうて、桑
の植え付け当年から収入が
あがり、年三回以上の養蚕
ができることから災害を受ける
率が比較的小さい。
(3)収入が早く得られる。
桑は植付け一年目の秋から
収穫ができるので収入がその
年からあがる。また、副産は
出荷と同時に、内渡金がすぐ
支払われます。
(4)販売に心配がない。
県の養蚕団体と、製糸団体
との協約によって取引がな
されているので、販売の心配がな
く、値段も県下一律の同じ基
準で定められています。なお
価格は法によって、国が保証
している。などがあります。
今年の希望者は、現在のと
ころ三十七人、桑園の面積は
六・二ヘクタールとなってい
ますが、農協では桑の植付け
時期(二月下旬から三月上旬)
がせまっているので、苗木購

適地に適木を

密植造林は後の管理を考えて

植林・今が最適

植林の時期がやって来まし

た。必要な地を早目にすんで、苗木が配布され次第、植え付けができるように準備してください。以下これらの植林について、特に注意していただきたいことについて、お知らせします。

- (一) 樹種の選び方
(二) 造林地に適した樹種と、品種を選ぶこと。
(三) 成長が早く、木大に發育するもの。
(四) 材質がよく、材価の高いもの。
(五) 病害虫などに対して、強いもの。

二、苗木

よい苗木の条件としては、(一) 地上部と地下部とのつりあいのとれたもの。

(二) 徒長していないもの。

(三) 枝張りの均勢のとれたもの。

(四) 下枝がよく張り、ガツチリしたもの。

(五) 根元の太いもの。

(六) 根張りがよく、細根の多いもの。

(七) 病害虫にかかっていないもの。

三、仮植

苗木から掘り取ってすぐ山に植え付けるのが理想ですがそれができないときは、仮植しておきます。仮植するとき

は一本づつよく並べて、土がよく根につくように工夫しないと、乾燥して結果が悪くなります。

四、地ごしらえ

植えやすくなるための土地の整理という考えから、植えた木の活着と、その後の成長を考えてやるように変ってきています。ですから、今までよく行なわれていた火入れによる地ごしらえは、やめるようにしましょう。

五、植え付け

植え付けの時期は一般に早春、樹が生長をはじめる直前が最も適期とされています。本町では二月から三月上旬が

この時期に当たります。ですから、できるだけ三月上旬までに終るようしてください。

植え付け本数は、最近密植造林がすすめられています。地形や、土壌その他の条件を考えて植林本数を定めるべきです。密植造林は、下刈り作業が省力できて有利ですが、後の管理が徹底しないと、かえって結果が悪いので、枝打ち間伐等の手入れを徹底しなければなりません。このようなことを考え合せて、決めるべきです。

六、植え付けの方法

正しい植え付けをして、補植のいらない造林方法でなければなりません。注意すべき点は、(一) 苗木は、造林地附近の風当りの少ない、日蔭の所に仮植しておく。

(二) できるだけ曇天、または降雨前に植えた方がよく、干天つづきのときは降雨を待つて植え付ける。

(三) 植え穴は大きく深く掘ること

なりつつあります。

では、その良質のものを生産するには具体的にはどのような方策が必要かと申しますと、先づ成熟したたばこを生産するためには収穫の時期を誤らず、未熟葉を絶対に収穫しないことはもちろんですが、その前に成熟しやすい、天候の影響をあまり受けないものを育てることが大切です。

一、生育の過程

しん止めまでの生育がおう盛で、しんを止めてから一時的に色が濃くなり適当な時期に色があせ、成熟期がはつきりわかり、しかもその期間がある程度長く、しかも天候の影響を受けにくいことが大切です。このために、地上部と根のつりあいが保たれていることが大事なことですが、しん止めの前から淡色で、しんを止めてからも色が濃くならな

と、少なくとも三十平方センチぐらいは掘るようにする。

(二) ひのきのように、表裏のはつきりしているものは、表を南側(強い光線を受ける方向)に向けて植える。

(三) 植え付けの要領

平地の基本的な植えつけ方は、(一) 地被物を一米平方にかきのける。

(二) 表層の肥えた黒い土を片側にかき寄せ、黒土が乾燥しているとか、黒土がないときはその必要はないが、黒土は直接根と接するようにするので、ごみが入らないようにする。

(三) 黒土を取り除いた全面によく鍬を入れる。植えつけると早くから根を張り始めるので、植え穴だけ広く耕耘しても周囲が耕耘されていないと根の伸長がおさえられ、曲げられるからです。

(四) 耕した中央に直径三十センチ、深さ三十センチの穴を掘り、その土をさきに取りのけた黒土と別にしておきます。

いものは乾燥後も淡色で光沢がなく、裏白になるようです。また反対にしん止め後長く退色しないものは成熟度が少なく、出来が悪く味が辛くなり

ます。

口、土壌と日照

土壌が湿じゆん状態日照が不足すると根の障害をおこし、若返りの現象が現れ窒素の吸収がおこるので成熟が悪くなり

ます。

ハ、耕作時期と被覆栽培

天候の条件は、移植と収穫の時期に最も影響します。特に収穫の時期をよく考えねばなりません。収穫期が梅雨明けになることは、梅雨の影響を強く受け、病害や風害を受け易く、作物も不安定になります。七月下旬以降の収穫は風向きの変わることや夜の温度の低くなることなどから、成熟葉の収穫はむずかし

いものと、すくなくとも三十平方センチを中央高に盛り上げる。

(6) 苗木を植える、苗木の根がまきれないように、自然の状態にして、根をよく広げて黒土の上に下向きにのせ、残しておいた黒土を上げた根の上から、しかも苗木を上下にゆさぶりながらかけて、一本一本の根の間によく入れるようにして、別に除いてあった土を一度にかき寄せるのでなく途中で踏みしめ、さらに残りの土を全部かけて、苗木を引っぱってみて上がないようだったらよい。このとき、植えつけの深さは余り深植えも、浅植えもよくないので、普通苗丈の三分の一から四分の一程度が適当とされます。

踏みつけ方は、軽く踏んで、強く踏みつけるとよくないで、普通引つてはよくない程度であるとい

(7) 枝葉をおおう。植えつけが終つたならば、さきに取り除いた、枝葉を植える前と

くになります。ですからできるだけ早進をはかって梅雨前に収穫することが望ましいわけですが、このため一部の地帯では被覆栽培をやりますが、ポリを除くとき気温の低いことがあり、霜の害や葉の着が少なくなることがありますから適正な管理をしてこれを防ぐことが大切です。

被覆栽培では、三十一・三十五日で覆を除きますが、たばこがポリにつかえるようになつたら、麦側のすそを、四、五日間六・九センチあけて外気にならしてから除くようにします。

施肥法

たばこが最も成長する時期(移植後四〇・四五日)には肥料の吸収をよくするため、根の生育促進と肥料分の流失を防ぎ、肥料も根のまわりにあるように土寄せや施肥をし

なければなりません。

被覆栽培では肥料の流失が少ないので、窒素分は少なくする必要があります。

自立経営農家として

農家は、自分の経済状態をよく知り、それに応じた営農計画を立て、たばこを主体にこれに和牛なり、水稲なり、甘藷なりを組み合わせ、作付け体型の単純化をはからなければいけないと思います。

そして、3・1・5・1・貯金をおしすめ、即ち、農産物代金の三割を営農資金に一割を税や公課に、五割を家計費に、一割を備蓄費に振り当てることです。

これを実施するために、家族のすべてが負債の状況等経済的な内容をよく知り、農業簿記を記帳することが最も大切なことだと考えられます。

(根占専売公社、山田技師)

同じ状態にもし全面におお

う。以上で植えつけが終りま

すが、一日のうえつけ本数は

二百から二百五十本とされて

いますが、この方法でします

と一日七十から百本ぐらいに

なるようです。

傾斜地の基本的なうえ方

傾斜地では作業が困難であるが、平地とちがう点をあげると次のようです。

(1) 地被物のかきのけは横よりも、縦の方を十分にする。うえつけのとき埋め土は上方の土を掘って使うので、上方を掘るとき枝葉等があると掘りにくいから、あらかじめその分まで枝葉をかけたのけておくことになり

ます。

(2) 黒土をかきよせるのは、前と同じですが、うえ穴を横に大きく掘るようにする。

〔 2 〕

農村青年健設班に参加して

意義深かった合宿訓練

塩屋一区 宮内正美



に過ぎそうと、各係を決め、翌日から本格的研修にはいりました。

建設班に入班して、私の感じた事と、研修の一部を申し述べてみたいと思います。

先ず入班の動機は、農家の経営者までも出稼に行かなければ生活出来ない程、窮地に追い込まれた農村、その農村に暮し、今後も生活して行く為にはどうしても同じ目的に向って立つ多くの仲間と、手を取り合つて、若い力で農業の前途を明るいものにして行きたいという一念からです。

私達二十一人は、一月二十三日、旧南大隅高校の、和裁室に集合し、向う八日間の合宿訓練をより有意義に自主的に

高値続く子牛 牡牛でも徹底した管理を

二月の子牛セリ市は三日に行なはれました。最近の肉牛不足から値段も非常に高く、生産農家はホクホク顔。特に今回、前のセリ市にくらべて、体系的にメス牛が高価で取引され、生産用牝牛の需用が増加している

ことがうかがえました。本町のセリ市は従来、郡内の各市場と比較して、価格の面で大きな開きがありました。最近だんだんその差が少なくなっているようです。出頭頭数も他の市場にくらべて少なくなっていますが、役場や、農協等の調査では、最近の子牛の値上がりは影響して、種付けされた頭数も相当多く今後生産頭数の増加が期待されます。

それとこれからは、牡牛でも充分な飼育管理をして、子牛を一つの商品として育てることが必要です。御承知のように牡牛は、そのほとんど

います。そうすると南大隅地区はどうしても農業をのぞいての発展は考えられません。また去る一月十一日第一回のコールドチェーン方式に依る農産物海上輸送テストも、東京の消費者に大変な人気があったとの事です。このようなことが実現化されますと消費地との距離が大きく短縮されることになり、従って今ここで農業を背負って立つ若者を育てる事が将来の町の発展に、大きくひびいて来るのではないかと考えます。

この建設班を南部四ヶ町の青年を集めてやるなら、もつと意義あるものになると思います。又卒業後も月一回の集合研修があり、これを続けてもらうだけでなく、これと農村の青年たちが自分の目標に向って、楽しく働けるような環境や、町単独の後継者自立農家育成資金、天災時のつなぎ資金の、制度を設けて一年に最低五人位は借し付けを行ない、真の後継者を育てる事は長い目で見れば決して無理なことではないと考えます。

しかし、今まで私たちが何回も経験して来たように或る程度の変動のあることは充分考えておかねばなりません。子牛の生産は一朝一夕にできるものでなく、どのような苦境に直面してもあきらめることなく、継続してやつて行く人が必ず幸運を握りうることになることは言うまでもありません。

現在のような価格がいつまで続くか断言することはできませんが、少なくとも当分の間急落するようなことは考えられません。

町政にあまえてゐる訳ではありませんが、私達農村青年は力を合わせて、より良き社会の建設に前向きな姿勢で頑張りますので理解のある農政とある程度は経済的援助も行つてくれるべきかと思ひます。今度の研修で学び得た事をもとにして、将来は肉用牛素牛の生産を主体とした経営を行いたいと思ひます。

大まかな計画を申し上げますと生産牛十五頭で八割生産、一頭八万平均で九十六万、生産牛素牛の育成として三頭、生産上りの老齢肥育を年三頭、一頭十五万として四十五万、この目標達成の為に更に勉強をかきね、実現させる覚悟で頑張りますので、今後とも諸先生方の御指導、御鞭撻を宜敷くお願い致します。

甘しょ苗の時期が迫つて来ます。次に示す基準は県が「甘しょ栽培合理化推進実験集落設置事業」という事業の中で、示している苗床作りの基準です。

甘しょの栽培は、澱粉業界の好、不況によつて価格の変動のはげしいことから毎年不安定になりがちで、農家としても安心して栽培できるわけではありませんが、ただ云えることは、単位当りの収量をふやして、生産費を切り下げ、てゆくことが農家にとつては最も大事なことです。

いろいろな作物について言えることですが、昔から「苗七分作」と云はれるように、甘藷栽培でも苗作りが大きく収量を左右する大事な要素になることは言うまでもありません。そこで今年は、この基準を

よく守つて立派な苗を作り増収していただきたいものです。

(1) 種いも 品種個々の性質をそなえた健全なもので、大きさはその品種として中ぐらいのもので二〇〇〜三〇〇グラム程度のものを選び、未消毒で貯蔵したものは四七〜四八度の温度に四十分間浸して消毒する。

(2) 苗床 苗床は、日当たりよく、暖かい管理に便利な場所を選び、時期は、植え付けの時期によりますが、本ほの作物等の収穫の時期等考え合わせて、大体三月の中、下旬頃にします。

(3) 苗床の種類と作り方 苗床は、露地床、じょう熟温床、電熱温床などがあり、すが、もつとも簡単で、資材労力が少ないつむ「露地ビニール苗床」についてお知らせします。

床幅はビニールの幅によつてきまめます。床面は掘り下げ、必要はなく、短冊型につくり、ある程度床面を高くして堆肥、金肥などを散布してよくまぜます。

床の周囲をわらを束ねたもので囲つておくと保温及びトンネル用竹骨を支えるのにつごうがよい、わらの束の直経は八センチ位でよい。

施肥量は、苗床の地力にもよりますが、一例を示すと次のとおり、(三・三平方メートル坪) 当り

堆肥十九キロ、窒素六六グラム(硫酸で三五〇グラム、尿素で一七〇グラム) リン酸三〇グラム(過石で一八〇グラム) 加里一五グラム(塩加

で七五グラム)

(4) 苗床面積と種いもの伏せ方 (5) 苗床の面積 本ほ一〇アール(二五・三〇平方メートル) 種いものは一五〇〜二〇〇キロ位は確保すべきです。

(6) 種いもの伏せ方 いもの芽は、なり口から多く出るので、伏せ方はいものなり口を同じ方向に向けて水平に伏せ、いものいもの中心間隔は縦横二〇センチ程度にします。

また、苗の密生を防ぐためなり口を二〜三センチ切り捨てる方法もありますが、必ずしもその必要はなく、むしろいものを伏せる場合、縦や斜めにおくとなり口と尾部を間違ふことがあり、また密生しやすくなるので注意が必要です。

(7) 覆土と覆い ものかくれる程度に、その上に完熟した堆肥を散布すると雑草の発生をおさえます。

(8) 乾燥を防ぐことができます。

(9) 管理 苗床の管理は、伏せ込みから発芽までが特に大事で、温度には細心の注意が必要で、農林二号は二五度位の温度が適温とされていますが、床内の温度が三七度を越すような場合には、ビニールのスズをすかして調節します。

また、とこ面が乾燥しないように水をかけることも大切で、できるだけ日中にかけるようにします。

追肥は、生育に応じて硫酸で五〇グラム位を追肥します。また採苗後には必ず追肥し苗の伸びをはかるようにします。

必ずビニール覆を

健康育苗で増収を

必ずビニール覆を

健康育苗で増収を

必ずビニール覆を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

健康育苗で増収を

目標は二億四千万円!!

葉たばこの植え付け始まる

四一人、一六二・五ヘクタール

これは、ことし本町内の葉たばこ耕作農家数と栽培面積です。

ことしから、災害を避け、品質の良いものを生産し、労力の配分をよくする等、多くの改善すべき点を解決するため、町内全部の葉たばこが、ビニールで覆をする「被覆栽培」になる予定です。

そして、一〇アール当り、二二〇キロ、一キロ当り六三〇円、一〇アール当りの代金は、一四五千円で総収納代金は、二億四千万円が目標になっています。



葉たばこの植え付け作業(城元たんぼで)

去る二月六日には、「たばこ増産期成大会」が開かれ、お互いに力を合わせてがんばり、この目標を達成しようという話し合いがなされています。今植え付けの最中、耕作上の技術的な問題等については各総代区毎に説明会が開かれ、いろいろな機会を利用してお知らせしてあるのと、専売公社なり、たばこ耕作組合の示す基準をよく守って立派な葉たばこが生産され「大根占町の葉たばこ」としてますますその名声を全国にひろめていただきたいものです。

減少を続ける 本県の農家

＝農林省の統計結果から＝

農家のみなさん方のご協力を得て農林省統計調査の結果がまとまりましたのでその要旨をお知らせします。まず鹿兒島県の農家の動向つまりこの一年間に農家数がどのくらい減ったか、農家の大半は、経営面積の小さなもので占められていて、とくに離農した農家では八十三%が五〇アール未満の農家層です。つぎに、本県では専業農家が減少し、依然として兼業化が進んでいます。これを耕地

面積五〇アール以上の農家でみると、前年に比べ十三%ふえて、四十八%を示しています。そして兼業農家の内訳は「雇われ兼業」が大部分で、そのうち恒常的勤務者のいる農家が三十二%、日雇人夫に就く農家が九%で、このように日雇人夫に出て収入を得ている農家が意外に多いことが注目されます。

一方農産物の販売状況ではこの一年間に二十万円で未満の収入農家が四十九%で約半数を占め、五〇万円以上はわずかに十四%と非常に少ない状況にあって、本県農家の零細性を端的に物語っているように見えます。

他の農村地帯にくらべて、気温の高い本町では、その温暖な気候を十分に生かして、これまでキヌサヤを大きく取りあげ、現在では、「大根占町のキヌサヤ」として大都市の市場で名声をあげ、信用を得つつあります。ピーマンは、これから先六ヶ月頃まで出荷されますが、ことしは、きょう年の二倍に当たる六千六〇〇平方メートル(約二千坪)にふやし、これによる収入を総額七〇〇万円位まで増やしてゆこうと農協では計画しています。

共販で築く明るい 豊かな農村

◎売る物、買う物、総べて農協で……

甘しよ栽培に新しい段階

ホイール導入で機械化

砂糖や、外国産でん粉等他の甘味資源との市場競争に對処し、甘しよでん粉等の生産合理化を急いではかるため、甘しよ生産費の切り下げをはかり、単位面積当りの収量の増加をはかる等甘しよの生産性の向上をはかることが急務とされております。

そこでこのほど県では、「甘しよ栽培合理化推進実験集落設置事業」を実施して甘しよ作の省力、機械化一貫作業等をすすめるようというものです。

四十一年度で県下に三十一市町村が指定され、おもに、てん菜栽培のなされていた市

町村を対象にしてこの事業が実施されますが、本町もその指定を受け、事業を実施することになっています。

この事業に要する経費は、大部分が国や県が補助することになっており、必要な施設として、ホイールトラクターをはじめその附属品として、植え付け機、つる切り機、堀り取り機、土壌消毒機などが購入されるほか、種いも貯蔵庫も設置される予定です。

ピーマン 出荷 共に順調 市況



(ピーマンの選別影風)

今出荷の最盛期で、一回に四〇～五〇箱(一箱四・五キロ入り)が出荷されています。値段は、現在キロ当り二〇〇円位になっていますが、三月一ばい位はこの値段が続くものと農協ではみています。これからは、国民生活が向上するにつれて、食生活の態様も変わり、栄養価の高い野菜類の需要がますます多くなる見込みです。